

一般社団法人情報通信ネットワーク産業協会  
会長 森川 博之 殿

富士川シーエーティーヴィ株式会社  
代表取締役社長 望月 潤

事後評価報告書（中間評価）

無線システム普及支援事業等補助金交付要綱補足事項の規定に基づき、下記のとおり報告します。

記

1. 事業概要

- (1) 工事完了日 : 令和 4 年 2 月 18 日
- (2) サービス開始日 : 令和 4 年 3 月 1 日

2. 目標達成状況（累計数）

指 標	目 標 (目標年度)	実績値/目標値		
		令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度
家庭用 Wi-Fi の設置数	1,000 箇所 (令和 9 年度)	0/100	312/200	372/500
		令和 6 年度	令和 9 年度	
		-/500	-/1,000	
公衆用 Wi-Fi の設置数		令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度
		0	0	1
		令和 6 年度	令和 9 年度	
		-	-	

(参考) (累計数)

提供可能回線数		利用回線数				
		令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 9 年度
10,891 回線	通信	0 回線	312 回線	374 回線	-回線	-回線

### 3. 目標達成に向けて実施した取組

#### 【家庭用 Wi-Fi】

個別営業のほか、ホームページ、地元電気店などと加入促進に取り組む。  
放送と通信の利用料のセット割引による加入拡大を図った。

### 4. 評価

#### 【家庭用 Wi-Fi】

インターネット高速化の期待から初年度は大きく増加したが、令和5年度に入り伸びが鈍化した。CATVでの光回線による高速インターネットの提供を待っていた利用者の加入が一通り充足したと思われる。

既に大手通信会社のサービス利用者は多く、電話等とのセットや家族割引などの料金体系、解約手続きの煩雑さなどがあり、取り込みの制限要素となっている。

自社調査（MACアドレスの確認）の結果、令和5年度末の家庭用 Wi-Fi の設置数は372回線であった。

通信の必要性、有用性の認識が低い住民も少なくない。これらの層の取り込みも合わせて検討して進めていく必要がある。

#### 【その他の無線局の開設について】

交付申請時には計画していなかったが、町所有の温泉施設で要望があり、公衆用 Wi-Fi を1箇所開設し運用している。

#### 【利用回線数】

対象エリアにおける申請時の同軸（HFC方式）によるテレビサービスの契約者は8,773世帯であった。通常CATVの光接続設備では、テレビと通信の両回線（2芯線）をまとめて引き込むので、テレビと通信の回線数は同数の設計となる。エリア全体を光化（FTTH方式）することでサービス品質を高め、インターネットの高速化による通信加入を伸張させ、更にテレビサービスのみの利用者で通信に関する理解や有用性の認識に乏しい人たちに対しても、広汎に通信利用を促進することを目的とし、年間1,500件を目標に6年ほどでの切替工事を計画していた。

これに対して、テレビの光化切替工事とこれに合わせた通信の加入が思うように進まなかった。当初はまだコロナの影響も残り、宅内作業を含む工事の受け入れが得られにくく、また工事を名目とした詐欺的な営業行為も多いことから、テレビの工事に対してもお客様の警戒感が強く、そのうえで付加的な通信導入の勧誘は容易ではなかった。その結果、令和5年度末の光化接続回線数は、新規加入世帯を含め2,598回線で、その内、通信の接続数は374回線であった。

テレビの切替工事対象はまだ約6,400世帯が残り、通信導入促進の機会であるので、切替工事に合わせた適切な周知を図り更なる加入促進が必要である。

## 5. 課題への対応策

### 【家庭用 Wi-Fi】

ホームページでのプロモーションを強化して、CATVでのインターネットが手ごろに利用できることを広く、分かり易く周知できるようにする。

また、より高速の通信プランの導入や、IPv6化の対応なども進めてサービスの品質を向上し、競争力のあるものにして加入を促進する。

導入時の丁寧な説明やアフターフォローが評価され、紹介してもらえる事例も出てきている。顧客に近いCATVの対応で、客先のすそ野を広げていく。

これらの対応策により、目標である令和9年度の無線局設置1000箇所を達成する。

### 【その他の無線局の開設】

公衆用 Wi-Fi 設置増加について自治体等への調整の実施や、Wi-Fi に限らず他の無線局での活用も検討していく。

### 【利用回線数】

テレビの切替工事に合わせた加入の促進を図るため、工事のお願いと調整の段階から、切替え後は通信サービスが高速化することを丁寧な説明で周知し、ユーザ自身の判断で加入を検討できるように導く。加えて、工事外注事業者にも協力を仰ぎ、周知や取り次ぎをしてもらえるようにする。

高齢者には丁寧に説明し、安心して契約してもらえるように努め、加入を促進する。切替工事対象の残り6,400世帯に対して、工事をスピードアップして、令和9年度末までに全8,773件の切替えを達成するよう計画し、利用回線数を提供可能回線数に近づけるよう努力する。